

一般質問

# ズバリ 市政を問う

本定例会での一般質問は、3月9日から10日までの2日間で行われ、9人の議員が質問しました。その質問と答弁の要旨をお知らせします。  
掲載は質問順としています。

## ジェネリック医薬品の 推進を

山下秀則 議員

答 今後も利用促進に  
努めたい

**問** 今後の人口減少や高齢化社会に伴う医療費の高騰が問題になっている。市は何かできるかを模索し、行動に移すべきではないか。

一つの方策として、ジェネリック医薬品の推進がある。年度ごとに薬価差額の目標を設定し、市民にも協力してもらえば、医療費抑制につながるのではないか。

**市長** ジェネリック医薬品の普及は、国民健康保険財政の改善や患者の負担軽減につながる。今後も国、県と歩調を合わせ、医師会などと協議しながら利用促進に努めたい。

**問** 福岡県はジェネリック医薬品の推進にいち早く取り組んでいる。筑後市においても、数量や金額の目標を立て、推進し

たらどうか。

**市長** 金額ベースも含め、目標を立てる努力をしていきたい。

### 就労継続支援の 今後の取り組みは

**問** 障害者総合支援法が施行され、3年が経過し

た。訓練給付、就労継続支援事業における今後の取り組みは。

**市長** 充実した生活のために多くの障がい者が就労できるよう、障がい者の社会参加機会の確保など、必要な支援を引き続き行っていく。



ジェネリック医薬品の推進で医療費抑制を  
(厚生労働省HPから)